

平成29年度第2回（被服学・美術デザイン学）グループ合同会議議事概要  
被服学教育FD/ICT活用研究委員会  
CCC美術・デザイン学グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成29年10月8日(日) 17:00~19:00  
II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局  
III. 出席者 : 被服学FD/ICT活用研究委員会 阿部委員長、潮田委員、小原委員、石原委員  
CCC美術デザイングループ運営委員会 有馬委員、井澤委員、宮田委員(スカイプ参加)  
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 議事概要

1. 開催要項の確定

被服学、美術デザイン学グループのアクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について検討を行った。各分野から報告された話題提供案について協議し、また意見交流のテーマ内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い以下のとおり決定した。

(1). 提案内容の説明、協議と決定事項

① 被服学分野

- ・分野の異なる複数の教員が連携し作成した教材を共有、学生はLMSを活用して関連科目を横断的に学修する事例を紹介し、授業改善の提案型話題提供を行うことを確認した。

(話題提供者) 石原 久代 氏 (椋山女学園大学 生活科学部教授)

(タイトル) 「LMSを用いた被服関係科目間の横断的展開の提案」

(内容) 関係科目を横断的に学ばせるLMSの仕組みを通じて知識の関連付けを行い、主体的な学びと判断力を促進する多領域コンテンツを共有する取り組みの提案

② 被服学分野

- ・スマートフォンなどを活用し事前・事後学修による授業改善事例を紹介することを確認した。

(話題提供者) 山縣 亮介 氏 (名古屋学芸大学 講師)

(タイトル) 「マルチデバイス対応型被服コンテンツを用いた事前・事後学修による教育効果の検証」

(内容) 感覚的技能といえるドレーピングを修得させるために、マルチデバイス型コンテンツを用いて、スマートフォンなどで事前・事後学修を行い、教育効果を上げている事例の紹介

③ 美術・デザイン学分野

- ・eポートフォリオを活用し、振り返り学修や相互評価による授業改善提案を行うことを確認した。

(話題提供者) 有馬 十三郎 氏 (東京家政大学 家政学部教授)

(タイトル) 「課題作品のポートフォリオを活用した教育改善の提案」

(内容) 課題作品をeポートフォリオに瞬時にアップロードし、相互評価、表現の多様性を認識させることを通じて振り返りを行い学びを発展させる取り組みの提案。

④ 美術・デザイン分野

- ・地域連携による社会的価値の認識や、多様な価値を学ばせる授業改善提案を行うことを確認した。

(話題提供者) 宮田 義郎 氏 (中京大学 工学部教授)

(タイトル) 「地域のクリエイターや企業、行政と連携した制作体験授業の試み」

(内容) 地域とコラボレーションすることにより、制作の外部評価を多面的に行い、社会的な通用性を確認する取り組みの紹介。

(2) 意見交流について

意見交流のテーマを以下の3項目に決定するとともに、対話集会当日の役割分担を決定した。今回の対話集会では、参加申込者へのアンケート結果を活かし参加者との積極的な意見交流や、認識の共有を目指すことなど開催要項の詳細を決定した。なお、委員は対話集会における具体的な進め方(シナリオ)を検討する。

- ① 「学力の3要素」を高めるICTを活用した教育・学修方法の工夫・改善
- ② 授業科目の相互改善を促進するための仕組みとICT活用
- ③ ICTによる外部評価試験システムの必要性

(3) 開催日時と場所

開催日時：平成29年12月17日(日)14:00～17:30

開催場所：大妻女子大学 千代田キャンパスに決定した。

V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回は対話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。